

(第1号議案)

平成29年度

事業報告書

(自 平成29年4月1日～至 平成30年3月31日)

障害福祉サービス事業

- ・生活介護事業 いずみ園、のぞみ
- ・共同生活援助事業 増尾台ウィズホーム
- ・短期入所事業 増尾台ウィズホーム

地域生活支援事業

- ・日中一時支援事業 たんぽぽ

相談支援事業

- ・指定相談支援事業 いずみ園相談支援センター

社会福祉法人 緑の会

平成 29 年度社会福祉法人緑の会事業報告

目 次

【社会福祉法人緑の会】

○事業概況	3
○理事会、評議員会の開催	4
○監事監査	4
○各事業の経営	5
○介護給付費請求関連	7

【生活介護事業いずみ園等事業報告】

I. 会議の開催	8
II. 研 修	9
III. 施設諸行事	10
IV. 行政及び対外関連、会議・総会・視察・見学等	11
V. 労務相談・会計相談・法律相談	11
VI. 日中活動	11
VII. レクリエーション活動 VIII. 音楽療法	12
IX. いずみ園喫茶 X. 健康管理	12
XII. 管理体制	13
XIII. その他	14

【共同生活援助事業・短期入所事業 増尾台ウィズホーム事業報告】

I. 会議の開催	17
II. 研 修	17
III. 行政及び対外関連、会議等	17
IV. 生活支援	17
V. ホーム見学者及びボランティア	19
VI. 防災訓練の実施、防犯体制の整備	19
VII. ホーム内設備・点検・保守等	19

【相談支援事業 いずみ園相談支援センター事業報告】

I. 計画相談支援実績	20
II. 研修	20

社会福祉法人緑の会 事業報告

<事業概況>

社会福祉法人緑の会は、障害者総合支援法に基づき、ノーマライゼーションの理念のもと、利用者を主体とした、そして地域に開かれた事業運営を進めました。

期初に掲げた法人事業の重点目標については以下の結果となりました。①新社会福祉法への対応については、新制度に基づき評議員会及び理事会を開催し、経理規定の改定を含む諸規程の整備を行いました。②法人創立25周年行事については、来賓約100名を含む総勢約200名の参加を得て、10月2日いずみ園にて開催し、これまで関わって戴いた方々に感謝の気持ちを伝えることが出来ました。③入所事業の拡大については、検討の為の時間的余裕が少なかったこともあり、具体的な取り組みには至りませんでした。④利用者・保護者の将来の不安軽減のための学習会については、弁護士を交えて開催することが出来ました。

いずみ園・のぞみの目標としていた、①個別支援計画に基づいた支援方法の統一は、研修を8回実施し、常勤非常勤を通じて支援方法の統一に繋がりました。②職員の意識向上のための研修については、サービス管理責任者・相談支援専門員現任研修などを行い、意識の向上に繋がっています。医療ケア対応については喀痰吸引研修に参加できず今後増える医療ケアへの対応が課題となっています。③給食サービスの向上については、食事のマナー化を防ぐために毎月給食会議を行い、メニューの多様化が進みました。④職員による介護機器の活用については、使用する頻度が増え身体への負担は減っています。また、トイレなどで活用できるリフト等を検討中です。⑤コストの削減については、物品の数をしっかり管理することで、職員がコスト意識をしっかりと持つことが出来ています。

増尾台ウィズホーム共同生活援助事業については、入居者に関わる様々な事業との関係性が深まり、より安定した生活できるようになっています。また近隣との関係も徐々に馴染んでいるように感じます。同所の短期入所事業については当初は職員一人で5人の利用者対応が出来ていましたが、共同生活援助の利用者のADL低下が顕著のため、短期入所利用者までは手が足らず、利用人数の減少に繋がっています。

相談支援事業については、事業開始以来5年が経ち、各関係機関との信頼関係構築に基づく実績の積み上げが出来ています。また、相談支援技術のスキルアップを目指した研修を重ね、様々なケースに対応できるようになりました。

以上

1. 理事会の開催

開催期日	主 な 議 題
第135回（6. 2）	平成28年度事業報告・決算（案）について 平成29年度第1次補正予算（案）について 役員報酬規程の制定について 諸規定の改正について 定時評議員会の開催について 共生社会弁護士懇談会について 平成29年度緑の会資金運用計画
第136回（6. 23）	理事長の互選について 定款細則第23条6号（人事案件）について 経理規程の改正について
第137回（8. 8）	預り金（増尾台ウィズホーム）規程について 介護給付費・訓練等給付費の過誤申立について 増尾台ウィズホーム第2次補正予算（案）について 本部第2次補正予算（案）について
第138回（12. 15）	役員賠償保険の加入について 役員餞別金規程の制定について 平成29年度第3次補正予算（案）について 有料人材募集の利用について 障害福祉記録システムソフトの導入について
第139回（2. 6）	介護給付費・訓練等給付費の過誤申立、今後の対策について いずみ園保護者会より提出された 「介護環境を改善する為の要望書」について
第140回（3. 23）	平成29年度最終補正予算（案）について 平成30年度事業計画（案）・予算（案）について 平成30年度緑の会資金計画（案）について 平成30年度給食業者選定について 平成30年度監事監査計画書について 柏市法人指導課指導監査について

2. 評議員会の開催

開催期日	主 な 議 題
第51回（6. 23）	平成28年度事業報告及び決算について 理事・監事の選任について 役員報酬規程の制定について

※評議委員は平成29年2月15日開催の評議員選任・解任委員会により選任。

3. 監事監査

実施期日	主な監査項目
第1回（5. 1） 期末監査	①期末帳簿残高と銀行の残高証明書との照合 ②現金の保管状況及び保管責任者の確認と期末帳簿残高との照合

	③行政からの補助金収入の明細書と付帯条件の充足状況の確認 ④労働基準法第 36 条に基づく労使協定の締結状況の確認 ⑤理事会及び評議員会の議事録の整備状況と記載内容の確認 ⑥定款記載内容の励行の確認 ⑦職員理事業務分掌の確認 ⑧ウィズホーム利用者からの預り金の保管状況と経理処理内容の確認 ⑨東京海上火災の役員賠償責任保険について
第 2 回 (5. 18)	期末監査
第 3 回 (8. 28)	定期監査
第 4 回 (11. 2)	定期監査
第 5 回 (2. 9)	定期監査

※平成 3 0 年 3 月 31 日現在

4. 生活介護事業 いずみ園の経営

- ・利用定員 (1 日あたり) 40 名
- ・契約者数 48 名 (前年比 1 名増)
- ・ 1 日平均利用者数 27.9 名 (前年比 0.4 名増)
- ・延べ利用者数 8,610 名 (前年比 67 名増)
- ・開所日数 309 日 (前年比 2 日減)
- ・利用率 69.1% (前年比 1.4%減)

5. 生活介護事業 のぞみの経営

- ・利用定員 5 名
- ・契約者数 5 名 (前年比 1 名増)
- ・ 1 日平均利用者数 3.3 名 (前年比 0.4 名増)
- ・延べ利用者数 796 名 (前年比 90 名減)
- ・開所日数 247 日 (前年比 1 日増)
- ・利用率 65.0% (前年比 9%増)

6. 共同生活援助事業 増尾台ウィズホームの経営

- ・利用定員 8 名
- ・契約者数 8 名
- ・ 1 日平均利用者数 7.9 名 (前年比増減無し)
- ・延べ利用者数 2,844 名 (前年比 4 名減)
- ・利用率 96.7% (前年比 0.1%減)

7. 短期入所事業 増尾台ウィズホームの経営

- ・利用定員 2 名
- ・実利用者数 19 (前年比 3 名減)
- ・ 1 日平均利用者数 0.8 名 (前年比 0.1 名減)
- ・延べ利用者数 349 名 (前年比 91 名減)
- ・利用率 33.9% (前年比 14.1%減)

8. 日中一時支援事業 たんぽぽの経営

- ・利用定員（1日あたり） 10名
- ・実利用者数 20名
- ・延べ利用者数 229名（前年比361名減）
- ・開所日数 306日

9. 指定相談支援事業 いずみ園相談支援センターの経営（障害児含む）

- ・サービス利用支援（計画作成） 156件（前年比17件増）
- ・継続サービス利用支援（モニタリング） 213件（前年比38件増）

【職員総数】

○平成29年4/1 39名

施設長	1名（常勤1）
事務長	1名（常勤1）
副施設長	1名（常勤1）※相談支援員兼務
主任生活支援員	3名（常勤2 非常勤1）
ホーム長	1名（常勤1）
生活支援員・世話人	20名（常勤6 非常勤14）
相談支援員	2名（常勤1 非常勤1）
看護師	2名（非常勤2）
事務員	2名（非常勤2）
運転手	6名（非常勤6）
（嘱託医・契約医 1名ずつ）	

○平成30年3/31 39名

施設長	1名（常勤1）
事務長	1名（常勤1）
主任生活支援員	3名（常勤2 非常勤1）
ホーム長	1名（常勤1）
生活支援員・世話人	20名（常勤6 非常勤14）
相談支援員	2名（常勤1 非常勤1）
看護師	3名（非常勤3）
事務員	2名（非常勤2）
運転手	6名（非常勤6）
（嘱託医・契約医 1名ずつ）	

介護給付費請求関連

(介護給付費の過誤請求の判明と対応)

1. 介護給付費の過誤請求の発見と処理：

平成29年7月、以下の通り、当法人が介護給付費の過誤請求を行っていたことを発見しました。当法人は直ちに給付費の収受先である柏市、松戸市、我孫子市の3市へ報告し、対応を相談しました。当法人は、平成29年8月8日の理事会においてこの対応を審議の結果、当該過誤請求分は速やかに全額返戻し、それを全額当期における損金処理として補正予算を編成することとしました。結果、平成29年11月末までに、夫々の市に対し、過誤請求額の全額の返戻処理を終了しました。

過誤請求の発生期間：平成25年5月～平成29年5月（5年間）

過誤請求の金額：(合計) ￥3, 384, 064

2. 過誤請求発生の原因と再発防止策

原因：この過誤請求は、ウィズホームにおける夜間の支援サービスに係る加算給付費を、サービスを行っていない日にも請求していたことにより発生したものです。これは、当該請求業務を一人の担当者に任せきりになっていたこと及びその担当者の理解不足と不注意が最大の原因です。

再発防止策：

8月8日理事会での審議結果を踏まえ、当期において以下の再発防止策を実施しました。

- ・新システム導入及び複数人管理によるチェック・管理体制の強化。
- ・職員研修による、介護給付制度内容への理解の深化と情報の共有、周知徹底。

事業報告

I. 会議の開催

1. 職員会議の開催

施設の運営につき、職員相互の情報の共有、周知徹底、詳細手続きの決定等のため職員会議を開催いたしました。

開催期日	主 な 議 題
4. 27	行事食について 遠足について いずみ園喫茶について
5. 25	6月行事食について 遠足について 電気施設の修繕について
6. 22	盆踊りについて 遠足について
7. 27	収穫祭について 盆踊りについて 遠足について
8. 24	遠足について 25周年行事について いずみ園祭について
9. 24	25周年行事について いずみ園祭について ふれあいパーティーについて
10. 26	ふれあいパーティーについて クリスマス会について アニマルセラピーについて
11. 22	ふれあいパーティーについて クリスマス会について
12. 14	クリスマス会について 新年会について
1. 25	すしキャラバンについて アニマルセラピーについて 次年度事業計画について 短期入所受け入れについて
2. 23	ユニビスタ日誌、ケース記録等ソフト導入について 30年スケジュールについて 36協定について
3. 26	平成30年度の方向性について 新利用者を迎える会について

2. ケース会議の開催

利用者がいずみ園における創作活動・生活支援を個々の障害や特性に応じて効果的に行えるように、職員によるケース会議を開催いたしました。

開催期日	主 な 議 題
4. 13	利用者状況（ワーク、排泄、食事、健康体操、入浴、送迎等）について 29年度各コース活動案について
5. 12	利用者状況（ワーク、排泄、食事、健康体操、入浴、送迎等）について 利用者（鈴木さん）について
6. 8	利用者状況（ワーク、排泄、食事、健康体操、入浴、送迎等）について 利用者（富田さん・小林さん）について
7. 13	利用者状況（ワーク、排泄、食事、健康体操、入浴、送迎等）について 利用者（中村さん・井出さん・田原さん・野田さん）について
8. 10	利用者状況（ワーク、排泄、食事、健康体操、入浴、送迎等）について 利用者（山崎さん）について
9. 14	利用者状況（ワーク、排泄、食事、健康体操、入浴、送迎等）について

10. 12	利用者（中村さん・田中さん・岡田隼人さん）について 利用者状況（ワーク、排泄、食事、健康体操、入浴、送迎等）について 利用者（赤坂さん）について
11. 9	利用者状況（ワーク、排泄、食事、健康体操、入浴、送迎等）について 利用者（成田さん）について
12. 7	利用者状況（ワーク、排泄、食事、健康体操、入浴、送迎等）について 利用者（新庄さん）について
1. 11	利用者状況（ワーク、排泄、食事、健康体操、入浴、送迎等）について 利用者（中村さん）の今後の支援について
2. 8	利用者状況（ワーク、排泄、食事、健康体操、入浴、送迎等）について 利用者（成田さん・赤坂さん）の今後の支援について
3. 8	利用者状況（ワーク、排泄、食事、健康体操、入浴、送迎等）について 利用者（鈴木さん）について 新利用者について

※その他必要に応じホーム会議の報告をしました。

3. 給食会議の開催

給食サービス内容の向上を図る為、利用者のニーズを把握した上で、職員・給食業者による給食会議を月に1回開催いたしました。

議題は前月の献立の良かった点・改善点、前回給食会議で指摘したことの確認、その他となっています。行事食・お楽しみ給食は以下のとおり行い、今年度は温かく充実した給食が提供できるようにしました。

開催期日	行事食・お楽しみ給食
6. 20	ぶっかけうどん、てんぷら、水羊羹
8. 24	天ぷらキャラバン
12. 7	ビビンバ丼
1. 4	サンドウィッチ
1. 30	寿司キャラバン

Ⅱ. 研 修

1. 施設外研修への参加

開催日	研 修 内 容
8. 25	送迎バス安全運転管理者講習
10. 4、12、13	相談支援従事者現任研修
11. 11、12. 13、14	サービス管理責任者研修
12. 6	障害福祉サービス給付費等請求事務説明会

2. 施設内研修の実施

施設職員として資質向上、技術向上のための研修を実施しました。

開催日	研 修 内 容
6. 15	ストーマの基礎知識について

※個別支援計画研修 8 回

Ⅲ. 施設諸行事

いずみ園を地域社会との関わりの深い開かれた施設とすることを目指し、地域住民が参加できる行事を開催しました。

1. 年間諸行事の開催

開催期日	開 催 行 事 名
4. 3	新利用者を迎える会、いずみ園サポートの会報告会
4. 24	ハンドトリートメント
7. 7	七夕飾り
7. 11	ハンドトリートメント
8. 8	盆踊り
9. 7	遠足
10. 2	25周年行事
10. 22	いずみ園祭
11. 28	ふれあいパーティー
12. 25	クリスマス会
1. 4	新年会
2. 2	節分豆まき
2. 27	仲間の会活動
3. 5	ひな祭り
3. 15	仲間の会役員選挙

2. いずみ園25周年感謝の会の開催

日時：平成29年10月2日（月）10:30～13:30

会場：いずみ園

参加者：198名

地域に根ざすいずみ園にとって25年間の集大成といえる式典となりました。また、これまでに関わった沢山の関係者の方達に感謝の気持ちを伝える良い機会となりました。

3. 利用者・保護者の将来の不安軽減のための学習会の開催

日時：平成29年5月26日（金）11:00～

参加者：20名

成年後見制度についての学習会を、いずみ園顧問弁護士である富田弁護士に講師にお招きし、開催しました。

IV. 行政及び対外関連、会議・総会・視察・見学等

期 日	内 容 等
4. 3	松の実会入園式出席
5. 11	柏市集団指導出席
6. 7	柏さくらライオンズクラブお寺コンサート参加
7. 3	柏市保健福祉部長、法人指導課長、障害福祉課長へあいさつ
9. 6	柏特別支援学校合同施設説明会参加
9. 16	藤心地区社協敬老の集い送迎車両貸出
11. 22	社会福祉法人ワーナーホーム拠点開所式
12. 21	柏市による法人指導監査
12. 21	柏市による生活介護のぞみ実地指導
1. 24	いずみ園新卒利用希望者事業説明会
3. 16	逆井小学校卒業式出席
3. 16	松戸特別支援学校卒業式出席

V. 労務相談、会計相談、法律相談

池田社会保険労務士事務所	4 回
木村会計事務所	3 回
弁護士法人千代田オーク法律事務所	1 回

VI. 日中活動

目的をもった2つのコースのどちらかを利用者に選択していただいた上で、利用者の日中活動支援を行いました。

(1) 生活自立コース

【目的】①生産活動や社会参加をとおして、生活していくための技術や知識を身に付ける。

②身体機能の維持を図る。(二次障害の予防)

【内容】生産活動 - ピロケース、ステンシル染色、雑巾、バスマット、フェルトボール

生活自立活動 - 食堂清掃、整理整頓 (ロッカー)

健康体操 - 月曜日の午前中に体操ビデオを見ながら体を動かしたり、ストレッチ等を行いました。

バザー参加

開催期日	開 催 行 事 名
5. 28	ニッカウスキーバザー
6. 29	松戸友の会バザー
7. 30	柏まつりバザー
8. 30	光陽園バザー
10. 22	いずみ園祭
11. 4	増尾地域ふれあいの集いバザー
11. 11	南部老人福祉センターバザー
11. 11	松特祭

- ・ 柏市社会福祉協議会の協力により、柏市教育福祉会館（ボランティアセンター）にショーケースを常設し委託販売をいたしました。

【工賃】生産活動の売上から利用者に2回（4月、10月）工賃を支払いました。

（2）からだケアコース

【目的】①心身ともに健康の維持（二次障害の予防）を図る。

②社会参加をとおして、多くの人とふれあい、見ようとする力、感じようとする力を身に付ける。

【内容】からだの時間 - 職員によるマッサージ・ストレッチ

からだほぐしマッサージーマッサージ師によるマッサージ

足浴アロマー足浴をしながらアロマテラピーをしました

創作活動 - 園内行事の装飾、園内写真飾り、入口掲示板の装飾づくりを行いました。

散歩 - 近隣の公園等に出かけリフレッシュしました。

リラクゼーション - 照明を落とし、レーザースターズ（プラネタリウム）の光の中音楽を聴きました。またスクリーンに映る映像を観ながら歌を歌う等しリラックスして楽しみました。
ホットタオルでもリラクゼーションを行いました。

Ⅶ. レクリエーション活動

年に3回生活を楽しむレクリエーション活動を設けました。5月イントロクイズ、9月車椅子リレー、1月書初め、3月風船バレーを行いました。

この他にも月に一度カラオケの日、映画の日を設けました。

Ⅸ. 音楽療法

講師による音楽療法を行いました。

リトミック4回、車いすダンス5回、笑いヨガ6回

Ⅹ. いずみ園喫茶

いつもの食堂とは違う喫茶店のような雰囲気の中で、利用者がグループに分かれ、話題を決め毎回違う紅茶を楽しみました。6回

Ⅺ. 健康管理

1. バイタルチェック

看護師により、体温・脈拍・血圧を計測しました。

2. 毎月1回体重測定をしました。

3. 健康診断（利用者による受診）結果の写しをいただき参考といたしました。

4. 契約医師による巡回相談を年4回行いました。

5. インフルエンザ対策マニュアルを改訂し、利用者、職員、ボランティア、来園者

にその予防を徹底しました。

6. 12月～3月にかけて利用者の家庭で毎朝の検温結果を連絡ノートに記入いただき、体調管理について家庭と連携をとりました。

XIII. 利用者の動き

1. 仲間の会活動

いずみ園の利用者の生活の中で、利用者の自主的な自治会活動として、いずみ園祭への出店（スーパーボールくじ）、また利用者が企画した「クイズビンゴ」（平成30年2月27日）を実施しました。また、3月には次年度へ向けて、役員（会長・副会長・書記・会計）を選挙で選出しました。

XIV. 管理体制

1. 緊急連絡網の整備

緊急時に対応するためメールでの職員連絡網、利用者の緊急連絡網・メールを整備しています。その緊急連絡網を使用し、大雪、大雨、災害時等の緊急時に効果的に連絡が出来るようにしております。

2. 防犯・防災体制の整備

- ・火災震災等に関してはそれに対応すべく、防災訓練を行いました。職員に防災担当をおき、各室ごとに火元責任者を任命して、自衛消防組織を編成し管理しています。平成29年度の防災訓練状況は3回実施し、内1回は消防署に協力を依頼しました。避難訓練の期日は毎年度同様に事前に周知せずに行ったため、より実際に近い訓練ができました。
- ・火災震災等に備えた利用者の医薬品備蓄については、保護者協力のもと3日分を医務室冷蔵庫に保管しております。
- ・防災グッズを館内に配置しております。
- ・事務室には警備会社のセンサー、玄関には熱感知センサーライトによる夜間侵入者への防犯体制を整えています。
- ・車両盗難防止のため防犯カメラの設置をしています。

実施期日	防 災 訓 練 内 容
11. 9	避難訓練・点呼・消火器使用訓練・通報訓練（柏市消防署逆井分署指導による）
1. 30	避難訓練・点呼
3. 27	避難訓練・点呼・屋内消火栓（消防機材センターによる）

3. 施設の整備等

職員の中に管財担当者を置き、施設内設備、備品の購入及び保守に努めました。
() 内業者名

○浄化槽点検 1回／月（新日本アクア）

○給水ポンプ点検・受水槽清掃 6月、12月（テラルテクノサービス）

○消防機材点検 5月、11月（消防機材センター）

- 自家用電気工作物保安管理業務 1回/2ヶ月 (日本テクノ)
- 冷凍冷蔵庫点検、保存庫設置 5月 11月 (ホシザキ)
- いずみ園内の床ワックスがけ 9月 (千葉県ビルメンテナンス協会東葛支部)
- 楓棟の屋根修理 6月 (ワタベ塗工)
- いずみ園 LED 工事 6月 (小倉建設)

4. 車輛の整備

- シビリアン (クリーム)、コースター (ラベンダー)
 - ・ 3ヶ月点検 (定期)、12ヶ月点検 (法定)、車検
- ハイエース (10人乗り)、キャラバン (ひかり号)、キャラバン (レインボー)、キャラバン (リンリン、ランラン)、ハイエース (リース)
 - ・ 6カ月点検 (定期)、12カ月点検 (法定) 車検
- スペーシア購入
 - 新車両導入に伴い、ワゴンR (こみち) を廃車 5月
 - ※雪道対策のためタイヤチェーンを全車に配備しています。

XIV. その他

1. 社会福祉実習生、保育実習の受け入れ

《大学別》

東京福祉大学	－女性 1 名	7/18 ～ 8/22	23 日間
日本社会事業大学	－女性 1 名	9/11 ～ 9/22	8 日間

《男女別及び合計》

男 0 名 女 2 名 合計 2 名

2. 「介護等体験等」大学実習生受け入れ

《大学別》

川村学園女子短期大学 1 名	法政大学 1 名
-------------------	-------------

《男女別及び合計》

男 1 名 女 1 名 合計 2 名

3. NPO法人まごころネットワーク 介護職員初任者研修の受け入れ

男性 9 名 女性 14 名

4. 職場体験、ボランティア体験、社会体験活動の受け入れ

二松学舎大学付属高等学校 (V 体験)	2 名
柏市立逆井中学校 (V 体験)	10 名
柏市立逆井中学校 (職場体験)	4 名
芝浦工大柏中学校 (V 体験)	28 名
沼南高柳高校 (V 体験)	5 名
柏市立柏第五中学校 (職場体験)	7 名
千葉県立柏陵高校	1 名
千葉経済大学短期学部 (V 体験)	2 名

5. 産業現場等の実習の受け入れ（特別支援学校、特別学級対象）

社会福祉施設の社会的役割として、障害者の進路のひとつとして実習生の受入を行いました。

千葉県立松戸特別支援学校	高等部	3年女性2名
千葉県立つくし特別支援学校	高等部	3年男性1名
千葉県立野田特別支援学校	高等部	1年男性1名

6. 逆井小学校「町はっけん」の受け入れ

町の人と関わって、自分とのつながりや発見を広げたり高めたりすることが目的の活動を受け入れました。

2年生 10名 10/3

7. 訪問美容アメリ・シュシュ

毎月最終月曜日 12回

8. ボランティアの受入

奉仕活動を希望する地域住民をボランティア活動を通じて受入れ、利用者と平常の作業、行事等様々な形で直接、間接的にかかわることでボランティアの協力を得ました。

平成29年度受入ボランティア延べ人数 421名

(平成28年度 567人)

期 日	月人数
4月	31名
5月	35名
6月	26名
7月	39名
8月	51名
9月	55名
10月	91名
11月	34名
12月	22名
1月	20名
2月	19名
3月	24名

9. 施設見学及び来園者

平成29年度施設見学及び来園者

期 日	人 数	内 容
4. 25	1名	つくし特別支援学校進路担当教諭
5. 2	4名	居宅介護事業所ナッツ
5. 18	1名	松戸特別支援学校教諭

7. 6	4名	松戸市肢体不自由児者父母の会
7. 18	1名	藤心社会福祉協議会副会長
7. 27	1名	船橋夏見特別支援学校教諭
9. 6	3名	中原シニアクラブ
11. 8	1名	野田特別支援学校教諭
11. 15	2名	柏市障害福祉課
2. 16	3名	花きりん

10. 保護者会

- ・奇数月に利用者の保護者会との会合を開き、報告と意見交換をおこないました。

11. 柏市肢体不自由児者を育てる会懇談会

- ・柏市肢体不自由児者を育てる会の役員との懇談会を1回もち、意見交換を行いました。

12. その他協力

- ・保護者・ボランティア・学校・地域の方々から、資源品（古紙、アルミ缶、牛乳パック）をお持ちいただいた後、栗林商店様に回収・換金のご協力をいただき、施設建設基金といたしました。

共同生活援助・短期入所 増尾台ウィズホーム

事業報告

I. 会議の開催

1. ホーム会議

利用者の意見・要望、職員相互の情報の共有、周知徹底、詳細手続きの決定等のためホーム会議を開催いたしました。

開催期日	主 な 議 題
4. 19	役割分担について シフトの急な変更について 緊急連絡方法について 4周年食事会について
6. 10	利用者対応について 4周年食事会のふりかえり 預り金清算について
8. 2	利用者対応について 衛生管理（居室のカビ）について
10. 26	利用者対応について 防災について
12. 21	利用者対応について ショート利用の受け入れについて
2. 21	来年度について 食事について

II. 研 修

1. 外部研修への参加

開催日	研 修 内 容
8. 29	くらし部会参加 (顔合わせ及び29年度のくらし部会の進め方について)
1. 29	くらし部会参加 (今年度の振り返り及び次年度に向けて)

2. 内部研修の実施

開催日	研 修 内 容
6. 15	ストーマの基礎知識について

III. 行政及び対外関連、会議、地域との関わり等

期 日	内 容 等
5. 11	柏市集団指導

IV. 生活支援

1. 食事

月曜～土曜日の夕食は食材業者（ヨシケイ）より食材を納入し、調理専従の非常勤職員や職員による料理を提供しました。盛り付け・配膳は当日の夜勤、遅番職員が行います。

毎日の朝食、土曜の昼食、日曜の昼夕食は日勤、夜勤、早番職員が食材の購入や

調理を行っています。メニューは両者とも質量ともに満足度の高い献立内容です。
利用者に適切な食物形態や状態（刻む、生野菜は湯通しをする等）で提供しています。

2. 入浴

入居者の体調をみながら4～5回／週実施しています。シャワーキャリーや入浴用リフトを使用して介助にあたります。

短期入所利用者については、2日目の利用から入浴があります。

3. 健康管理

毎朝起床後の体温測定、入浴前の体温・血圧・脈拍の測定等により健康状態を確認、また服薬の介助、薬の管理も行っています。また排泄記録を付け確認することで、身体のリズムを把握しながら対応をしています。

体調不良時には、保護者と確認の上、通院、居室での静養等の支援をおこなっています。

また11月には健康診断およびインフルエンザ予防接種を実施しています。

4. 余暇支援

ボランティアの協力を得て、地域の行事に参加や、外出で食事を楽しみました。

開催期日	内 容
4. 2	花見
6. 11	ホーム4周年記念食事会
8. 19 20	増尾地区夏祭り参加予定も雨のため食事だけ購入

※利用者個別に外出ヘルパーと契約し、利用者によって1回/月の程度で外出支援を利用されています。

5. ひまわり活動（利用者自治会）

利用者同士で話し合いをもち、充実したホーム生活を送るにはどうすれば良いか紅茶等お茶をしながら話し合いを持ちました。今年度も家庭菜園を実施しました。また旅行の企画をするために、旅行費積立通帳作成し、毎月積み立てをしています。次にボランティアさんたちとの外食を希望して実施したり、遊具の購入も進めました。

6. 夜間対応

2名の夜勤者で連携の上、1時間に一回程度の見回りを行い、緊急の場合に備えています。

7. 金銭管理

預り金管理規定に基づいて、一人3万円を限度とする現金と印鑑及び障害者手帳を保護者から預かり、ホーム内に保管しています。主に日用品、飲食物、外出・外食・行事への参加費等、個人別の支出に充てています。

個別に管理台帳を用意し、物品購入等の出金、保護者からの入金を、記帳確認し管理しています。

V. ホーム見学者及びボランティア

1. 見学者

期 日	人 数	内 容
11. 17	20 名	松戸特別支援学校
12. 12	2 名	ぶるーむ

2. ボランティア 延べ 15 名

VI. 防災訓練の実施、防犯体制の整備

- ・火災震災等に関してはそれに対応すべく、下記の通り防災訓練を行いました。また消防署に即繋がる火災通報装置も備えております。
- ・警備会社によるリビングルームと駐車場の防犯カメラ、玄関にはセンサーによる外部侵入者への防犯体制を整えています。加えて、12 月にはガラス飛散防止フィルム（アーマーシールド）を取り付け、外部からの侵入予防措置の追加としました。

実施期日	防 災 訓 練 内 容
11. 3	自主避難訓練 －夜間 2 階リビング出火想定 －参加者 利用者 1 名・職員 2 名
1. 14	自主避難訓練 －2 階居室から滑り台までの移動 －参加者 利用者 1 名・職員 4 名
2. 15	総合訓練（逆井分署立ち合い） －通報訓練 －初期消火訓練 －参加者 職員 5 名

VII. ホーム内設備・点検・保守等

- ・消防機材点検 5 月、11 月（消防機材センター）
- ・ホームエレベーター点検 5 月、12 月、2 月（パナソック・アイムス）
- ・車両 スズキエブリ 車検及び点検（アオキオート）
- ・エアコン清掃 3 月（ダイオーズ）

指定相談支援事業 いずみ園相談支援センター

事業報告

I. 計画相談支援実績

(障害者)

- | | |
|---------------------|-------|
| ・サービス利用支援（計画作成） | 156 件 |
| ・継続サービス利用支援（モニタリング） | 213 件 |

(障害児)

- | | |
|---------------------|------|
| ・サービス利用支援（計画作成） | 19 件 |
| ・継続サービス利用支援（モニタリング） | 14 件 |

II. 研修

- ・相談支援連絡会 12 回
柏市障害福祉課と市内相談支援事業所が毎月 1 回集まり、事例検討、相談支援方法、地域資源の確認、情報交換等を行いました。
- ・柏市自立支援協議会相談支援部会 5 回
相談支援連絡会の実施報告と今後の予定、課題、検討事項等、委託相談事業所と共に、指定相談支援事業所代表として参加しました。
- ・就労支援における関係機関の連携について
クロスフェードの概要と取り組みについてや、医療と福祉の連携によっての就労支援方法を学び、そして課題等をグループで話し合いました。
- ・全国相談支援ネットワーク研修大会
相談支援の質の向上に向けた検討会における議論のとりまとめを聞き、医療的ケアを必要とする方への支援のあり方についてを学びました。
- ・柏市の在宅医療の取り組みについて
柏市地域医療推進室より、これまでの取り組みや、ケースの実際、ご家族の声等を聞きました。
- ・地域医療の中での在宅医療
手賀の杜クリニックの志賀医師による包括医療（保険予防、疾病治療、後療法および更生医療）を地域住民に対し社会的に適応、実践することを聞きました。
- ・柏市のこれからの高齢者福祉
柏市長による講演。スライドを見ながら、柏市の実情を聞き、高齢者に止まらず福祉全体の今後のビジョンや、市民の要望など話し合いました。

完

